

## 【2025年シニアナショナルチーム選考基準】

## 1 2025年シニアナショナルチーム選考基準における目的

- (1) 国際大会においてメダル獲得
  - (2) 第20回アジア競技大会に向けた育成強化
- 上記目的に沿った選手を選考する。

## 2 選考要領

- (1) 人数：男子4名 女子4名
- (2) 対象大会

2024. 8. 15 現在

回次	期 日	大 会 名	場 所
1	9/8(日) *予備日 9/22(日)	ランキング戦 第1戦	関東近傍
2	10/6(日)	ランキング戦 第2戦	リソルの森(千葉県)
3	11/1(金)~11/3(日)	第64回全日本選手権大会	安城市(愛知県)

- (3) ランキングの決定方法
  - ア 上記(2)大会の内、得点の高い2大会の合計ポイントで決定する。
  - イ ランキングポイントについては別紙1の通りとする。
  - ウ 大会数減少の場合は下記の通りとする。
    - (ア) 2回次の場合は出場した大会で得たランキングポイントの合計点で決定する。
    - (イ) 1回次の場合はその大会で得たランキングポイントで決定する。
- (4) 序 列
  - ア 全日本選手権大会優勝者
  - イ 国内ランキング第1位の選手 \*左記選手が ア のみに該当する場合は国内ランキング第2位の選手
  - ウ 国内ランキング第2位の選手 \*左記選手がア又はイに該当する場合は国内ランキング第3位の選手
  - エ 国内ランキング第3位の選手 \*左記選手がア又はウに該当する場合は国内ランキング第4位の選手

## 3 欠員の補充

第2項にて選考された人員の中にやむを得ない事情で欠員が生じた場合は、速やかに競技力強化委員会会議を開催し選考されていない選手の内から国内ランキング最上位者を選考することとする。

## 4 その他

- (1) 水泳+LRにおける競技力の向上が強化方針の一つであることに変わりはないが、2025年度に限りその記載を留保とした。この目的は、フェンシング等の技術系の種目に秀でている選手のナショナルチーム参入が期待でき、同時期に一緒に訓練することで持久系種目と技術系種目の双方の強化に繋がることとしている。
 

なお、2026年度において必要であれば水泳+LRの基準を選考要領に組み込む予定である。
- (2) 諸事情により変更が生じた場合は、競技力強化委員会および選手選考委員会とで協議を行い、決定した内容を直ちに日本近代五種協会のホームページに掲載またはその他の手段にてお知らせします。

## 【ランキングポイント】

順位	ポイント	
	A	B
1	50	30
2	44	26
3	39	23
4	34	20
5	29	18
6	25	16
7	21	14
8	18	13
9	15	11
10	13	10
11	11	8
12	10	8
13	9	7
14	8	6
15	7	5
16	5	5
17	4	4
18	3	3
19	2	2
20	1	2
21	1	1
22	1	1
以降 1点とする		

## 同点の場合

ア 対象試合の最高ポイントが高い者を上位とする。

イ アで同点の場合、シリーズ中の水泳・LR の得点が高い者を上位とする。

ウ イでも同点の場合、シリーズ中の LR の得点が高い者を上位とする。

エ ウでも同点の場合、直接対戦した直近の対象試合で順位が高い者を上位とする。